

皆様、はじめまして！今年の2月に入団させていただいた高本知弥です。

私の父はハワイ出身で廿日市からの移民の子孫なので、最初に触れた楽器はウクレレでした。幼いころよりフェスティバルやライブなどに参加しましたが、全て耳で聴いて覚えるという方法で楽器を演奏していたため楽譜を読むことができませんでした。

小学校6年生の時、両親が連れて行ってくれたウクレレライブのメンバーの1人が父の大学時代の音楽理論の先生で、コントラバスとウクレレが演奏できる方でした。「コントラバスを習うとクラシックだけでなく、ジャズや色々なジャンルの音楽ができて良いよ！」と教えてください、楽譜が読めるようになってほしいという両親の思いと勧めもあり、中学校の吹奏楽部でコントラバスを始めました。しかし当初はウクレレと同じように耳で聴いて覚えてしまい、変わらず楽譜は読んでいなかったですね(笑)。

コントラバスを手に取り1年ほど経った頃、両親がプロオーケストラの団員なので興味を持ちはじめ、近くのジュニアオーケストラに入団しました。そこで先輩方に楽譜の読み方など色々なことを教わり、初めて弾いた曲はベートーヴェンの交響曲第7番。最初は全く弾けなかったのですが、試行錯誤しつつ段々弾けるようになった辺りからオーケストラの中でコントラバスを演奏することが楽しくなりました。

そのうちオーケストラの団員になりたいと思い始め音楽科がある地元の高校に進み、その後は東京藝術大学・大学院へ進学し、様々な音楽祭に参加、併せてオーケストラにも客演する機会をいただきました。大学院在学中には兵庫芸術文化センター管弦楽団に入団し、国内外の素晴らしい音楽家の方々から沢山の学びを得ました。そして昨年3月、大学院卒業式の日広島交響楽団のオーディションを受け無事合格して入団した次第です。

高祖父が120年ほど前に廿日市からハワイに移住し、今、私が広響の一員として演奏させていただけることに特別なご縁を感じています。まだまだ未熟者ではありますが、皆様と共に音楽を持つ魔法をコンサート会場で共有できるよう精一杯頑張ります。

今後とも応援のほど宜しくお願い致します！



首席コントラバス奏者  
たかもと ともや  
高本 知弥

はじめまして！

4月よりヴァイオリン奏者として入団致しました廣瀬朱音と申します。いつも広響を応援いただき、ありがとうございます。

私がヴァイオリンを始めたきっかけは5歳の頃、祖父母が子供用の小さいヴァイオリンをプレゼントしてくれたことです。両親は、せっかくならヴァイオリン教室へ私を連れて行きました。教室では弦楽合奏のコンサートが年に1回あり初めて参加した時、一人で演奏するのは異なり、色々な楽器の音が重なり合う和音の美しさに感動したのを覚えています。

中学生になると進路を考えるようになり、将来は音楽の道に進みたいと思い始めました。しかし当時は運動も好きで、陸上部で練習に打ち込んでいたこともあり、直ぐに進路を決めることができませんでした。本格的に音楽の道を目指したのは音楽大学の受験からで、高校時代は学業の他、毎月東京へレッスンに通い、ピアノやソルフェージュなどの習い事で忙しい日々を送りました。将来はオーケストラに入りたいと思ったのも、実はこの頃からでした。ある先生に気持ちを伝えると「オーケストラに入るには、まずソロが上手にならないと無理だ」と言われ、悔しくてそれ以来一生懸命にソロ曲を練習しました。晴れて音大に合格し、これから楽しい学生生活を送れる！と思ったのも束の間、初めての一人暮らしに加え、周りには自分より上手い人が大勢いて劣等感を抱く日々でした。卒業後はどうしようかと悩んでいた時、師事していた先生よりオーケストラ・アカデミーを勧めていただき1年間オーケストラについて専門的に学びました。そこで広響のオーディションを知り受験したところ合格することができ、広響の温かい皆様が私を迎えてくださいました。

まだまだ未熟ではありますが「音を楽しむと書いて音楽」と言うように、聴いてくださる皆様に楽しんでいただけるよう、真剣に音楽と向き合い日々精進してまいります。



ヴァイオリン奏者  
ひろせ あかね  
廣瀬 朱音

## 編集 後記

いよいよクリスティアン・アルミンク音楽監督を迎えての2024年度シーズンが開幕！皆様のご期待に応えるべく、一同ますます励んでまいります。広響の演奏会や最新情報は公式ホームページ、Facebook、X、Instagramをご覧ください。

## 公益社団法人 広島交響楽協会

広島交響楽団事務局

管弦楽等の音楽活動に関する事業を行い、広島市及び広島県の音楽文化の振興を図り、もって広島市民及び広島県民の平和と文化の発展向上に寄与することを目的としています。



# TREND HIROKYO

公益社団法人 広島交響楽協会

〒730-0842 広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル2F  
TEL 082-532-3080 FAX 082-532-3081 URL <http://hirokyo.or.jp>



クリスティアン・アルミンク  
音楽監督就任！  
《SECRETS ~音楽の不思議~》

## クリスティアン・アルミンク 音楽監督就任！

年間テーマは《SECRETS ~音楽の不思議~》

いよいよクリスティアン・アルミンクを音楽監督に迎え、新しいシーズンがスタートしました。2024年度に掲げたテーマは「SECRETS ~音楽の不思議~」です。演奏会でお届けする作品に秘められた作曲家の思い、音符や旋律の背後に注目して内に潜んだ秘密をアルミンク音楽監督と共に紐解きます。また、今年度から徳永二男をミュージック・アドバイザーとして新たに迎えます。7月からはコンサートマスターに北田千尋が加わり、更に充実したメンバーでより良い音楽をお届けしてまいります。

### —4月~6月のラインナップ—

クリスティアン・アルミンク音楽監督との門出となる**第440回定期演奏会**(4/13開催)は、世界が注目するピアニスト、ティル・フェルナーとのベートーヴェンの「皇帝」で幕開け。リヒャルト・シュトラウスの大曲、アルプス交響曲に挑みます。**特別定期演奏会**(5/12開催)には、平和音楽大使マルタ・アルゲリッチが登場。

プロコフィエフのピアノ協奏曲第3番に平和への祈りを込めて響かせます。**第441回プレミウム定期演奏会**(5/31開催)は徳永二男ミュージック・アドバイザー就任披露でブラームスの交響曲第3番。ヴァイオリンのギドン・クレーメルをソリストに迎えます。**第442回定期演奏会**(6/14開催)は秋山和慶の指揮活動60周年を祝って、北欧作品からアッテルベリの秘曲2作品を披露。ピアノの福岡洸太郎が劇的なコンチェルトに挑戦します。

アルミンク音楽監督による**シン・ディスカバリー・シリーズ**は《ふたりのヴォルフガング》と題してモーツァルトとコルンゴルトの作品を特集します。**第1回**(7/26開催)は広響コンサートマスター北田千尋がモーツァルトのコンチェルトでソリストを務めます。

**音楽の花束~広響名曲シリーズ**は《イニシャルBの誘惑》、頭文字がBを冠する作曲家たちの名曲を届けます。**〈春〉公演**(5/18開催)は沼尻竜典の指揮で生誕200周年ブルックナーの

交響曲第7番を。広響首席クラリネット三界達義と首席ヴィオラ安保恵麻がソロを務めるブルッフの二重協奏曲にもご注目ください。

各地の音響の優れたホールからお届けする地域定期演奏会、**第27回廿日市定期演奏会**(4/20開催)ではウィーン音楽を知り尽くしたアルミンク音楽監督によるブルックナーの「ロマンティック」に期待大。萩原麻未と贈るのはモーツァルト最後のピアノ協奏曲、第27番。続くアルミンク音楽監督との**第31回島根定期演奏会**(4/27開催)、今年リニューアルオープンを記念して松江市プラバホールでの開催です。ヤナーチェクの「タラス・プーリバ」ではホールが誇るパイプオルガンを室住素子が響かせます。チェリスト横坂源の堂々たるドヴォルザークのコンチェルトにもご期待下さい。

2024イヤーズブックはこちらから



## 会員募集中 ディスカバリー、名曲コンサート、中期定期

**ディスカバリー会員**  
(7/25まで受付)

シン・ディスカバリー・シリーズ  
《ふたりのヴォルフガング Mozart & Korngold》(全4公演)  
S席14,900円 / A席12,100円 / B席9,300円

**名曲コンサート会員**  
(5/17まで受付)

クラシックの名曲を、華やかな会場でご鑑賞いただく名曲コンサート(全3公演)  
S席9,100円 / A席7,000円

**中期定期会員**  
(4/15~9/3まで受付)

9月から11月までの定期演奏会(全3公演)  
S席14,000円 / A席12,500円 / B席10,800円

あなただけのマイシートで毎回ご鑑賞いただけるほか、追加でチケットをご購入の際は割引価格でご購入いただけるなど、お得な特典をご用意しております。(詳しくはイヤーズブック、HPをご覧ください。)

お申込みは広響事務局  
☎082-532-3080まで  
お電話ください。